

⑤ 文献一覧

文 献 一 覧

- 1) 葛谷雅文：高齢者の低栄養をどう考えるか. 日本医事新報, 第 4338 号, 63-69 頁, 2007 年.
- 2) 富永一道, 安藤雄一：咀嚼能力の評価における主観的評価と客観的評価の関係. 口腔衛生学会雑誌, 第 57 卷, 第 3 号, 2007 年.
- 3) 富永一道, 安藤雄一：咀嚼能力・早食い・栄養摂取等に関する疫学調査. 科研報告書, 2011 年.
- 4) 安藤雄一, 三浦宏子, 若井健士 他：歯の保有状況と食品群・栄養素の摂取量との関連 (その 1). 科研報告書, 153-164 頁, 2011 年.
- 5) 安藤雄一, 三浦宏子, 若井健士 他：歯の保有状況と食品群・栄養素の摂取量との関連 (その 2). 科研報告書, 165-175 頁, 2011 年.
- 6) 菊谷武：居宅要介護高齢者の低栄養リスクと口腔機能との関係. 科研報告書, 2011 年.
- 7) 合田敏尚, 市川陽子：高齢者の経口摂取の維持ならびに栄養ケア・マネジメントの活用に関する研究. 科研報告書, 2011 年.
- 8) 葛谷雅文, 加藤昌彦：要介護高齢者の経口摂取に関する縦断調査. 科研報告書, 2011 年.
- 9) 三浦宏子, 佐藤加代子：咀嚼能力低下者に対する食品選択と調理法. 科研報告書, 131-136 頁, 2011 年.
- 10) 金中章江, 岩田宏隆 他：要介護高齢者に対してのチームアプローチ. 感染防止, 第 20 卷, 第 2 号, 14-22 頁, 2010 年.
- 11) 山内知子, 小出あつみ：高齢者の咀嚼能力と食事摂取状況の関連. 名古屋女子大学紀要, 第 54 号, 89-98 頁, 2008 年.
- 12) 菊谷 武, 吉田光由, 管 武雄 他：栄養ケア・マネジメントにおける歯科の役割. 日本歯科医学会誌, 第 26 卷, 36-41 頁, 2007 年.
- 13) 菊谷 武, 西脇恵子, 稲葉 繁 他：介護老人福祉施設における利用者の口腔機能が栄養改善に与える影響. 第 41 卷, 第 4 号, 396-401 頁, 日本老年医学会雑誌, 2004 年.
- 14) 菊谷 武, 榎本麗子, 小柳津 馨 他：某介護老人福祉施設利用者にみられた低栄養について. 老年歯科医学, 第 16 卷, 第 2 号, 110-115 頁, 2004 年.
- 15) 菊谷 武, 高橋賢晃, 福井智子 他：介護老人福祉施設における栄養支援. 老年歯科医学, 第 22 卷, 第 4 号, 371-376 頁, 2008 年.
- 16) 児玉実穂, 菊谷 武, 吉田光由 他：施設入所高齢者にみられる低栄養と舌圧との関係. 老年歯科医学, 第 19 卷, 第 3 号, 161-167 頁, 2004 年.
- 17) 菊谷 武, 米山武義, 手嶋登志子 他：口腔機能訓練と食支援が高齢者の栄養改善に与える効果. 老年歯科医学, 第 20 卷, 第 3 号, 208-213 頁, 2005 年.
- 18) 菊谷 武, 児玉実穂, 西脇恵子 他：要介護高齢者の栄養状態と口腔機能, 身体・精神機能との関連について. 老年歯科医学, 第 18 卷, 第 1 号, 10-16 頁, 2003 年.
- 19) 伊藤英俊, 菊谷 武, 田村文誉 他：在宅要介護高齢者の咬合, 摂食・嚥下機能および栄養状態について. 老年歯科医学, 第 23 卷, 第 1 号, 21-30 頁, 2008 年.
- 20) 斎藤 徹, 長谷川慶子, 長谷川賢 他：歯科治療を施行した高齢者の食事形態と ADL の変化について. 老年歯科医学, 第 17 卷, 第 1 号, 15-20 頁, 2002 年.
- 21) 藤本篤士, 小城明子, 植松 宏 他：高齢者の栄養摂取方法に関する研究. 老年歯科医学, 第 18 卷, 第 3 号, 191-198 頁, 2003 年.

- 22) 寺岡加代, 柴田 博, 渡辺修一郎 他: 高齢者の咀嚼能力と口腔内状況ならびに食生活との関連性について. 老年歯科医学, 第10巻, 第1号, 11-17頁, 1995年.
- 23) 村田あゆみ, 守屋信吾, 小林國彦 他: 地域自立高齢者の自己評価に基づく咀嚼能力と栄養状態, 体力との関係. 老年歯科医学, 第22巻, 第3号, 309-318頁, 2007年.
- 24) 平野浩彦, 渡辺 裕, 石山直欣 他: 老年者咀嚼能力に影響する因子の解析. 老年歯科医学, 第9巻, 第3号, 184-190頁, 1995年.
- 25) 石山直欣, 平野浩彦, 笠原諏訪子 他: 地域老年者の咀嚼能力および口腔内状況に関する研究 第1報. 老年歯科医学, 第7巻, 第2号, 141-149頁, 1993年.
- 26) 平野浩彦, 石山直欣, 渡辺郁馬 他: 地域老年者の咀嚼能力および口腔内状況に関する研究 第2報. 老年歯科医学, 第7巻, 第2号, 150-156頁, 1993年.
- 27) 寺岡加代, 柴田 博, 渡辺修一郎 他: 高齢者の咀嚼能力と身体状況との関連性について. 老年歯科医学, 第11巻, 第3号, 169-173頁, 1997年.
- 28) 湖山昌男, 石山直欣, 渡邊郁馬 他:ゼリーを用いた咀嚼能力判定試料に関する研究. 老年歯科医学, 第6巻, 第2号, 126-131頁, 1992年.
- 29) 鈴木美保: 歯科治療による高齢者の日常生活活動の改善. 老年歯科医学, 第22巻, 第3号, 265-279頁, 2007年.
- 30) 中尾 豊: アルブミンは栄養評価の指標として適切か? 日本病態栄養学会誌, 第11巻, 第2号, 127-134頁, 2008年.
- 31) 平澤玲子, 蕉木智子, 吉野美香 他: 地域在宅高齢者を対象としたMNAによる栄養評価と低栄養に関連する要因の検討. 日本病態栄養学会誌, 第12巻, 第2号, 137-147頁, 2009年.
- 32) 神森秀樹, 葭原明弘, 安藤雄一 他: 健常高齢者における咀嚼能力が栄養に及ぼす影響. 口腔衛生学会雑誌, 第53巻, 第1号, 12-22頁, 2003年.
- 33) 中島美穂子, 沖本公繪, 松尾浩一 他: 高齢者における咀嚼能力についての研究－有歯顎者と義歯使用者との比較－. 日本補綴歯科学会雑誌, 第47巻, 第5号, 779-786頁, 2003年.
- 34) 津賀一弘, 吉田光由, 占部秀徳 他: 要介護高齢者の食事形態と全身状態および舌圧との関係. 日本咀嚼学会雑誌, 第14巻, 第2号, 62-67頁, 2004年.
- 35) 田中 光, 中村光男, 松本敦史 他: 高齢者の咀嚼能力が食事摂取に及ぼす影響について. 老年消化器病, 第16巻, 第3号, 203-208頁, 2004年.
- 36) 今井敦子, 康田省吾, 松島恭彦 他: 介護保険施設における食事に関する調査. 日本補綴歯科学会雑誌, 第49巻, 第3号, 469-477頁, 2005年.
- 37) 田中 光, 中村光男, 管 静芝 他: 咀嚼と栄養 特に食事摂取に及ぼす影響に関して. 消化と吸収, 第28巻, 第2号, 54-59頁, 2006年.
- 38) 那須郁夫, 斎藤安彦: 全国高齢者における健康状態別余命の推計－とくに咀嚼能力との関連について－. 日本公衆衛生雑誌, 第53巻, 第6号, 411-423頁, 2006年.
- 39) 秋野憲一, 相田 潤, 本多丘人 他: 自立高齢者における歯牙欠損部の放置と栄養摂取状況との関連性. 北海道歯学雑誌, 第29巻, 第2号, 159-168頁, 2008年.
- 40) 戸田貞子, 早川文代, 香西みどり 他: 高齢者に対する牛肉の食べやすさの調理による向上. 日本家政学会誌, 第59巻, 第11号, 881-890頁, 2008年.
- 41) 市川哲雄, 永尾 寛, 窪木拓男 他: 咀嚼能力評価の標準化に関する研究. 日本歯科医学会誌, 第28巻, 34-38頁, 2009年.
- 42) 寺岡加代, 森野智子: 施設在住要介護高齢者の意欲 (Vitality Index) と口腔機能の関連性について. 老年歯科医学, 第24巻, 第1号, 28-36頁, 2009年.
- 43) 寺岡加代, 森野智子: 施設在住要介護高齢者の意欲 (Vitality Index) に関する縦

- 断研究. 老年歯科医学, 第 25 卷, 第 2 号, 115-122 頁, 2010 年.
- 44) 池邊一典, 喜多誠一, 難波秀和 他: 義歯の装着状況と質的要因が高齢者の栄養摂取に及ぼす影響. 日本補綴歯科学会雑誌, 第 44 卷, 第 2 号, 332-338 頁, 2000 年.
 - 45) 羽村 章: 口腔の老衰とその対策. 日本老年医学会雑誌, 第 47 卷, 第 2 号, 2010 年.
 - 46) 日本人の食事摂取基準策定検討会: 日本人の食事摂取基準 (2010 年版). 厚生労働省, 291-306 頁, 2009 年.
 - 47) 佐々木啓一: 咀嚼・嚥下機能の検査・診断法. 日本補綴歯科学会雑誌, 第 46 卷, 第 4 号, 463-474 頁, 2002 年.
 - 48) 河野正司, 志賀 博, 中野雅徳 他: 咀嚼障害評価表のガイドラインー主として咀嚼能力検査法ー. 日本補綴歯科学会雑誌, 第 46 卷, 第 4 号, 619-625 頁, 2002 年.
 - 49) 葛谷雅文: 高齢者の低栄養. 老年歯科医学, 第 20 卷, 第 2 号, 119-123 頁, 2005 年.
 - 50) 和泉雄一, 青山典生, 松浦孝典, 水谷幸嗣: 9. 歯科医療の効果 3) 歯の喪失防止効果. 日本歯科医師会「健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス」, 244-251 頁, 2015 年.
 - 51) 山本龍生, 恒石美登里: 9. 歯科医療の効果 4) 健康教育. 日本歯科医師会「健康長寿社会に寄与する歯科医療・口腔保健のエビデンス」, 252-259 頁, 2015 年.
 - 52) 那須郁夫: 咀嚼能力の向上は健康余命を延伸する. 日補綴会誌, 第 4 卷, 第 4 号, 380-387 頁, 2012 年.
 - 53) 菊谷 武: 栄養改善を目標とした運動障害性咀嚼障害患者への取り組み. 日補綴会誌, 第 7 卷, 第 2 号, 102-105 頁, 2015 年.
 - 54) Taniguchi E, et al.: Relationship between diet texture and discharge due to deteriorating health condition in nursing home residents in Japan: A multi-center one-year prospective study. Asia-Pacific Journal of Public Health, 26(5)507-16, 2014.
 - 55) 佐々木 敏: 高齢者の健康 「咀嚼嚥下機能がたいせつな理由は?」. 女子栄養大学出版部, 第 81 卷, 第 6 号, 2015 年.
 - 56) 椎名美和子, 河野真紀子, 佐藤裕二 他: 新義歯治療過程における術者評価と患者評価の計時変化. 補綴誌. 第 52 卷, 第 3 号, 301-310 頁, 2008 年.
 - 57) 武見ゆかり, 川畑 輝子: 口腔保健と栄養の架け橋ー栄養から口腔保健へー. 日健教誌 第 21 卷 第 1 号, 92-99, 2013 年.
 - 58) 大塚理加, 菊池和則, 野中久美子, 新開省二 他: 地域包括支援センターにおける地域高齢者の栄養状態の改善への取り組みの実態と今後の課題. 老年社会科学, 第 35 卷, 第 4 号, 2014 年.
 - 59) 新開省二: 高齢者の生活機能の予知因子. 日老医誌, 第 38 卷, 第 6 号, 747-750 頁, 2001 年.
 - 60) 島根県歯科医師会: 平成 24 年度高齢者の口腔と栄養との関連プレ調査ー報告書ー. 2013 年.
 - 61) 島根県歯科医師会: 平成 25 年度高齢者の口腔と栄養との関連調査ー報告書ー. 2014 年.
 - 62) 菊谷 武: 地域で“食べる”を支えるということー運動障害性咀嚼障害に対するリハビリテーションー. 日本歯科医師会雑誌, 第 69 卷, 第 4 号, 43-49 頁, 2016 年.
 - 63) 吉田光由: 超高齢者に対する義歯治療ー高齢者・要介護者の咀嚼機能と補綴治療の効果・限界. 歯科医展望, 第 127 卷, 第 3 号, 542-549 頁, 2016 年.